

「建設女子」の輪、北東北3県に広がる

青森と岩手、秋田の北東北3県で活動する建設系女性技術者団体らの交流会（県監理課主催）が2019年8月29日、八戸市商工会議所で開かれました。建設産業における女性技術者の入職や定着の促進を図ろうと実施したもので、今回が初開催となります。

交流会には、青森県の「あおり女性建設技術者ネットワーク会議」（植村房恵会長）に加え、岩手の「いわてけんせつ小町部会」、秋田県内各地区の女性部会5団体で構成する「あきた建設女性ネットワーク」などから合計82人が一堂に会し、各団体の取り組みを紹介したほか、働きやすい職場環境などをテーマにグループディスカッションを行いました。

あおり女性建設技術者ネットワーク会議の活動紹介では、田名部組の上（かみ）さおりさんが環境改善や経営トップの意識啓発を目的としたフォーラム、入職促進につなげる職業体験や女子学生との懇話会などの取り組みを説明するとともに、「女性の活躍は、職場環境や働き方に変化をもたらします。地域建設業の輝く未来のために今後も様々な活動を提案し、私たちが定年まで働き続けられる業界を実現していきます」と力強く語りました。



北東北の女性技術者が一堂に会し、それぞれの団体の取り組みについて話し合った交流会（2019年8月29日、八戸市商工会議所）

あおり女性建設技術者ネットワーク会議



植村 房恵会長からのメッセージ



男社会のイメージの強い建設業ですが、近年では女性を雇用している企業が少なくありません。今後、若い人たちが入職・定着するためには、建設業のイメージ改善や働き方の改革が必要だと考えます。そのためにも、女性建設技術者のパイオニアとして、建設業の輝く未来のために、建設業が誰もが働きやすい産業になるよう、会員一丸となって笑顔あふれる、夢のある事業を実施していきますので、是非、イベント活動に参加して一緒に交流を深めましょう。

当会議は、建設業に従事する女性の働く環境の改善を目的に、県内の建設業で活躍している女性で構成する組織であり、平成27年10月23日に設立されました。現在の会員数は65名で、会員相互が交流・連携し、建設業で女性が活躍する姿の発信ほか、働く環境の改善に向けた意見を発信するなどの活動を行っています。建設業で女性が活躍することは、工事現場の環境や働き方に変化をもたらし、性別・年齢を問わず誰もが働きやすく、能力を発揮できる産業になることにつながることを期待されています。



あおり女性建設技術者ネットワーク会議事務局
 （青森県県土整備部監理課 建設業振興グループ内）
 tel.017-734-9706/fax.017-734-8178
<http://aomorikensetuko.com/71833/>

BUILD AOMORI
 青森の未来をつくろう!

げんば BEAT



女性もできる 土木・建築

DOBOKU & KENCHIKU

道路工事や建築現場など、建設の現場で働く女性技術者「建設女子」。近年、注目されてきましたが、ほんの数年前までは、見かけることも稀でした。しかし今、建設が大好き！暮らしを支えるインフラの仕事に就きたい！という思いを叶え、建設の世界に飛び込んできた女性たちがいます。青森生まれの、魅力的な「建設女子」たちを紹介します。



▶ 只今WEBにて動画公開中!!

げんばビート

検索

お問い合わせ：青森県県土整備部監理課建設業振興グループ

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 県庁北棟3階
 tel.017-734-9706 / fax.017-734-8178 / mail:kensetsugyo@pref.aomori.lg.jp

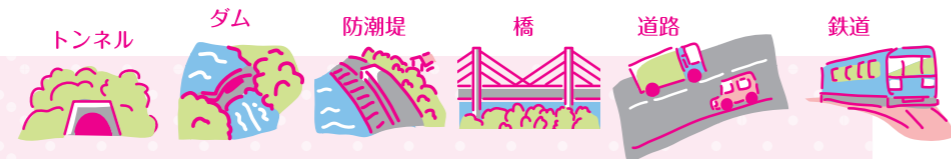
青森県建設業ポータルサイト

青森県建設業

検索

<http://pub.pref.aomori.lg.jp/kouji/>

土木



「土木のしごと」は、山や森、川、海などの自然を相手に、道路やトンネル、ダム、橋など私たちの暮らしや経済活動を支える社会基盤（「インフラ」ともいわれます）をつくる仕事です。蛇口をひねると水が出る、橋やトンネルができて移動時間が短くなった、洪水の被害を減らすなど、私たちの安全で便利な暮らしを支えているのは土木の仕事なんです。

土木のしごとをする人たち

施工管理 (現場監督など)

工事の最初から最後までかかわって、スケジュールを立てたり品質をチェックしたり、コストや現場の安全を管理したりします。



建設 コンサルタント

橋やトンネル、ダムなどの土木構造物を作る際に、その計画や土地の調査、設計などを担当する専門家です。



橋げたをのせる

車が通るためのコンクリートの板をのせる骨組（橋げたといいます）を、大きなクレーンで橋の土台にのせます。



橋ができるまで

1 土台をつくる

車道や歩道を支える橋の柱をつくります。ここでは、主に土工、型枠工、鉄筋工が活躍します。



鉄筋工

コンクリートの橋脚の強度を高めるため、骨組となる鉄筋を組むことが仕事です。



型枠工

鉄筋の周りに「型枠」というパネルを貼り、そこへコンクリートを流し込みます。固まったら型枠を外します。

とび工

建築現場の周りに囲いをしたり、鉄骨を組み立てたり、みんなが作業しやすいように足場をつくらします。



土工

機械ではできない作業など手作業でこつこつと進めたり、重機の作業をサポートしたりします。土木工事現場にいないとわからない縁の下の力持ちです。

舗装工

アスファルトフィニッシャーが吐き出したアスファルトをキレイに平らにします。スピードが大切です。

塗装工

橋げたと橋げたのつなぎ合わせた部分などにさび止めのため、ペンキを塗ります。キレイに仕上げる繊細さが必要です。

クレーン オペレーター

クレーンを運転して、重い鉄骨などを持ち上げます。肉眼では見えない部分もあるので、合図をしてくれる職人さんとのチームプレーが大切！

4 舗装する

コンクリートの上をアスファルトで舗装し、中央線などのラインを引きます。最後に道路に外灯を設置して完成です！

電工

外灯が点くように、電気関連の工事を担当します。環境面を考え、最近は寿命が長いLEDの道路灯が多く使われています。

アスファルトフィニッシャー オペレーター ローラーオペレーター

道路舗装のために欠かせない重機を運転します。アスファルトフィニッシャーは、アスファルトを熱して、道路に敷き詰めます。ローラーはその上をしっかりと踏み固め、道路を完成させます。

建築



「建築のしごと」は、マンションなどの住宅をはじめとして、映画館やショッピングモール、レストラン、学校、工場など、私たちが生活したり、楽しんだり、食事をしたり、勉強したりする建物をつくる仕事です。私たちが、生活する上で当たり前のように利用している建物をつくっているのは、建築の仕事なんです。

建築のしごとをする人たち

施工管理 (現場監督など)

工事の最初から最後までかかわって、スケジュールを立てたり、品質をチェックしたり、コストや現場の安全を管理したりします。



建築士

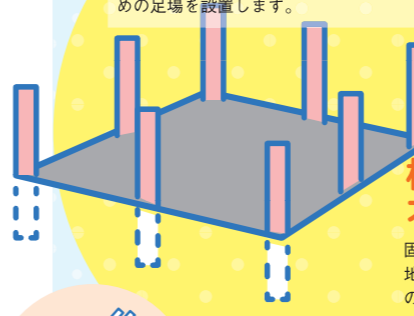
どんなデザインにするか、周りの環境や安全面、用途などいろいろなことを考えて設計します。



建物ができるまで

1 基礎・鉄骨を組み立てる

学校が傾いたりすることがないように土台となる土を平らにしたり、杭を地中に埋め込んで土台をつくります。次に鉄骨を縦、横に組み立て、みんなが安全に作業を行うための足場を設置します。



杭打機 オペレーター

固い地層まで杭を埋め込んで地震にも負けない安全な建物の土台をつくります。

とび工

建設現場の周りに囲いをしたり、鉄骨を組み立てたり、みんなが作業しやすいように足場をつくらします。



完成！！

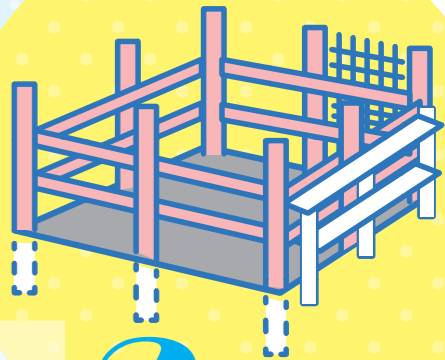
周りに木を植えて庭をつくる造園工事などを行って完成です！

造園工

木や花を植えたり池をつくらしたりして庭をつくる仕事です。その後も定期的に庭木の手入れを行います。

柱・壁・床をつくる

鉄骨を組み立てたら、鉄筋でその周りを補強していきます。その鉄筋のまわりにパネル(型枠)を貼り、そこにコンクリートを流し込んで柱や壁、床などをつくっていきます。



鉄筋工

コンクリートの壁や床の強度を高めるため、骨組となる鉄筋を組むことが仕事です。

型枠工

鉄筋の周りに「型枠」というパネルを貼り、そこへコンクリートを流し込みます。固まったら型枠を外します。



3 建物を仕上げる

建物の骨組みが完成！次は外壁にタイルを貼ったり、内側の壁や床など美しく仕上げたり、建物内で水道や電気などを使うように工事をします。

電工

建物の中で電気を使えるように配線する工事をします。電気にかかわる工事はすべて担当！



タイル工

外側の壁や玄関部分などにタイルやレンガを貼ります。建物の見た目を決める大切な作業！



左官

「こて」という道具を使い、壁や階段、床、天井などに土やモルタル(セメントに砂を混ぜて水で溶かしたもの)を塗ってキレイにします。



配管工

部屋を冷やしたり、暖めたりする空気(冷暖房)やガス、飲み水、トイレの排水などを流すための管を設置します。



クレーンとの出会いが人生を変えた。
家族と会社の支えで子育てにも奮闘中

未経験でも大丈夫！

新山 翔子 さん

SHOKO NIIYAMA #32
共栄産業 株式会社
重機課(資材管理)
クレーンオペレーター

DATA

十和田市出身。青森県立北斗高等学校通信課程普通科卒業後、いくつかの民間企業を経て2015年6月に入社。移動式クレーン運転士免許、車両系(整地等)、アーク溶接基本級A-2F、玉掛け、ガス溶接など多くの資格を保有する2児のママ。

共栄産業 株式会社

青森県十和田市大字大沢田池ノ平1-304
tel.0176-27-3001
<http://kyoueisangyoutowada.p-kit.com/>



ラフタークレーンに一目ぼれ

「ラフタークレーンに一目ぼれしまして」。県内では数少ない女性クレーンオペレーターになったきっかけをこう話すのは共栄産業株式会社(十和田市)の新山翔子さん。高校卒業後、県外の工場でNC旋盤オペレーターとして働いていた新山さんは、21歳で地元へ戻り、いくつかの職場を経験。そして、26歳の時にラフタークレーンと出会い、人生が大きく変わりました。

当時の新山さんは、シングルマザーとして当時まだ2歳だった長女の子育てと仕事の両立をめざし奮闘する毎日。ある日、当時勤めていた会社に偶然置いてあったラフタークレーンを見て「これだ!」と直感します。「クレーンオペレーターなら規則的な勤務時間で安定した収入を得ることが可能なのではと考えました」。すべては子供と過ごす時間を確保し、子供の将来に不安を残さないようにするための判断でした。

※NC旋盤とは、各種の旋盤に数値制御(Numerical Control)装置を取り付け、刃物台の移動距離や送り速度を数値で指示できるようにした機械のこと。

自社車両置き場のラフタークレーン

免許取得し未経験からのチャレンジ

そこからの新山さんは持ち前の行動力を発揮し、すぐにクレーン免許を取得。十和田市内にある数々のクレーンを扱う企業にアプローチをした結果、現在の職場である共栄産業に未経験のまま採用となりました。

クレーンオペレーターは通常、クレーンに吊り荷を掛ける玉掛けなどの「下回り」という役割から修業をスタートすることが多いそうですが、女性に下回りをやらせるのは危険いと会社の判断から、新山さんはいきなりクレーンに乗り込むことに。乗る前は「ついに自分の力でクレーンに乗れる!という嬉しさでいっぱいでしたが、すぐにその気持ちは消えてしまいました。とにかく何がわからないのかわからない位で、慣れるまで大変でした」と入社当時を振り返る新山さん。しかし、会社が新山さんに経験を積ませようと優先的にクレーンに乗せてくれたこともあり、周りのサポートを受けながらクレーン作業をこなす中でどんどん技術を身につけていきました。

「親方が色々教えてくれたおかげで気持ちに余裕が生まれ、そこからクレーンに乗っていても広範囲を見ることができるようになったのを今でも覚えています」

現在の新山さんの仕事は、本社敷地内ヤードでの作業が中心。現場から戻ってきた「矢板」と呼ばれる板状の杭をクレーンで下ろす作業や、溶接による矢板の補修などの鍛冶仕事、部材の在庫管理などを行う傍ら、積極的に後進の指導にもあたっています。「未経験の若い子達に鍛冶仕事を教えると、その子達が現場で経験を積んで帰ってきて、部材製作を手伝ってくれる訳です。そしてみんなで作ったその部材がまた現場で役に立つ。本当にこの仕事をしていて良かったと思う瞬間です」

いつも運転をしている
クレーンの前に立つ新山さん

会社が子育てを手厚くバックアップ

職場の同僚である大樹さんと結婚した新山さんは現在、2人目のお子さんとなる1歳の長男の子育て真っ盛り。働きながらの子育ては難しいのが常ですが、会社側の手厚いバックアップで子育てと仕事を両立しています。「子供関係の用事がある時などはお休みやお時間をいただくなど、もうこれ以上ないというぐらい本当によくしていただいています」

そして、子育てが一段落したらやってみたい次の目標があります。「当然現場には出たいと思っています。でも、まずは現場に出た時にしっかりとできるように、今のうちに技術力を磨いておきたいです」

未経験からこの業界へ入った新山さん。建設業を志す女性や学生へは「私もそうだったように『自分は何もできないのでは』と感じている人こそ建設業に来てほしい。この業界はそんな人を受け入れてくれる」とエールを送ります。がんばる人を応援してくれる会社と仲間。そして何よりも大切な家族の応援を受け、今日も新山さんはクレーンに乗り込みます。

溶接技術を用いた鋼矢板の補修、
部材製作などの鍛冶仕事もこなす

ひとことメッセージ

共栄産業 株式会社 管理部長

沢目 義広

新山さんには矢板の在庫管理などさまざまな仕事をやらせてもらっていますが、他の従業員とのコミュニケーションも十分とれていますし、前向きに仕事に取り組んでもらっています。弊社ではさまざまな工事を請け負っておりますので、溶接などさまざまな資格を取りながら今後もがんばっていただきたいですね。私は海外で仕事をしていたこともあり、女性がこの業界で活躍する時代が日本にも来たのかなと感じています。弊社にはITによる自動運転の圧入機もありますので、今後はより女性でも対応できる環境になってくるのではないのでしょうか。人手不足の問題もありますので、男性、女性問わず自分が将来何をやりたいかというビジョンさえあれば、会社としては資格取得支援などでその気持ちに応えていきたいと考えています。



念願叶い電気工事士に！ 「次は施工管理技士」



1級めざし頑張る！

下川 茉央 さん

MAO SHIMOKAWA #19

株式会社 京谷電気
工事部 工務課

DATA

青森県立むつ工業高等学校（電気科）在学中、国家資格・第二種電気工事士の資格を取得するとともに、国家資格・第一種電気工事士および2級電気工事施工管理技術検定（学科）に合格。高校卒業と同時に2019年3月入社。現在、第一種電気工事士免許交付と2級電気工事施工管理技術検定（実地）の受験をめざし、日々実務経験を積み重ねている。ジュニアマイスター顕彰特別表彰ゴールド認定。東通村出身。

株式会社 京谷電気

青森県八戸市北白山台2丁目8-23
tel.0178-27-6303
<http://kyoyadenki.co.jp/company/>



🛑 若干19歳、若き女性技術者誕生

ほとんどが男性中心の電気工事業界に、一人の若き女性技術者が誕生しました。2019年3月に青森県立むつ工業高校電気科を卒業し、京谷電気（八戸市、高橋誠社長）に入社したばかりの下川茉央さんです。若干19歳。

高校在学中、電気工事士の第二種免状を取得するとともに、その第一種、および電気工事施工管理技士の2級学科試験に次々と合格。高校生のうちに挑戦できる国家資格の課題をすべてクリアして卒業したという、優秀で勉強熱心な下川さん。憧れの仕事に就いて約半年、一人前の技術者を目指して日々奮闘中です。

「電気工事も楽しいけど、お客さんと打ち合わせしながら工程を決めていく先輩の姿を見て、施工管理、の仕事ができたらいいな、と思いました。この会社で実務経験を積ませていただいて、1年で受験資格を得られる2級施工管理の実地に合格できたら、次は1級も目指したい」

今後の目標を聞かれ、言葉を選びながら慎重に話すその口調からは、芯の通った凛々さが感じられます。



段ボールで梱包された照明器具を取り出す下川さん

🛑 初めての現場が「YSアリーナ八戸」

彼女が目指したいという施工管理技士は、発注者との打ち合わせや施工図面の作成、工事の工程や安全・品質管理などを行う「現場監督」の仕事に必要な国家資格。技術者としてより高度な電気工事の知識や、職人さんとのコミュニケーションなどマネジメント能力が求められます。

一方、在学中に合格済みの国家資格、第一種電気工事士についても、5年の実務経験を積みば下川さんに免状が交付されます。この第一種免状があると、自家用電気工作物（最大電力500キロワット未満）の需要設備の電気工事に従事できるようになり、彼女の仕事の幅はさらに広がります。

アイドル好きな普通の女の子が、「初めは興味がなかった」という電気工事の道をなぜ選んだか。その理由について下川さんは、「進路を本格的に考え出した中学2年生の頃、設備工事の仕事をしていた親戚の影響を受けたから」と振り返ります。

むつ工業高校電気科に進学後、実習などを通して電気工事を学び、資格を取得していくうちに、「この仕事に就きたい！」という思いが強くなっていきました。

そんな下川さんが就職先に選んだのは、在学中に職場見学で訪れたこのとある京谷電気。1946年創業の歴史ある会社で、2019年9月にオープンした屋内スケート場「YSアリーナ八戸」のような大型施設の新築工事にも関わるなど、毎年10億円以上の工事を完成させている、県内大手の電気設備会社です。同スケート場が最初の仕事で、先輩に教わりながらダクト加工や配線作業を経験しました。

この日の現場は、彼女にとって3件目となる看護小規模多機能ホームの新築。一般的に、新人の仕事は先輩社員の補佐的な作業から始まるのですが、彼女はすでに、照明器具取り付けの本工事をこなしています。60台ある2階の照明器具は、すべて彼女が取り付けました。



【写真左】小柄ながら、脚立を使って高さ2.7mの天井に照明器具を取り付ける下川さん【同右】分電盤の接続作業もすっかりお手の物

🛑 工事完成にやりがい「ずっと続けたい」

「最初に取り付け方を教えたら、あとは全部一人で。（新人の割に）結構、気持ち強いですよ」。現場で下川さんの指導にあたる先輩工事士、藤田紘史さんも、そのメンタルの強さに太鼓判を押します。

身長142センチと小柄ながら、重さ約5kgの腰袋を身に付け、床から高さ2.7メートルの天井まで脚立を使って照明器具を持ち上げ、電動ドライバーで手際よく照明器具を取り付けていく下川さん。

「新人ならここまでやらないとか、『どうしよう、どうしよう』ってなるんですけど、彼女は負けず嫌いなので、どんな仕事も人一倍努力します」と藤田さん。

「わからないことはちゃんと聞きに来てくれるし、説明したらちゃんとその通りにやってくれます」

女性だからといって甘えることの無い姿勢に、現場のベテランたちも信頼を寄せているようです。

大変だと感じるのは力作業。「男でも重たく感じる」（高橋社長）という重さ10キロ以上の電線「VVVFケーブル」を持って階段を上り下りすることもあります。

それでも仕事が楽しい。「自分が取り付けした照明器具が点灯した時、達成感がある。男性ばかりでつらい事もあるけど、それをやりがい、が上回る。将来結婚したとしても、この仕事を長く続けていきたい」



【写真左】先輩工事士の藤田さん（左）に教わりながら、2階の照明器具60台を取り付けた下川さん【同右】高橋社長（右）と下川さん

📣 ひとことメッセージ

株式会社京谷電気 代表取締役社長

高橋 誠

下川さんは、当社初の女性技術者です。学生時代から資格取得に対して努力家だった彼女は、職場見学や面接の時も「電気工事士になりたい」と自分の夢を語っていました。こうして入社してもらい、日々、電気工事を学ぶ彼女に話を聞くと、いつも「現場が楽しい」と言ってくれます。仕事を楽しくしてくれるのは嬉しいですし、これからもそういう気持ちで働いてもらえるよう、職場環境を整えていきます。そして、下川さんの希望通り、今後は施工管理技士として育成を考えています。当社では、専門知識のない人に対しても、入社後に会社が費用を負担して、講習会への参加や資格取得を応援しています。これからは電気科以外にも枠を広げ、下川さんに続く女性技術者の採用と育成に向け取り組んでいきたいと思っています。





数少ない女性現場監督

竣工祝う一体感「たまらない」

会社の理解に感謝!

塚尾 香澄 さん

KASUMI TSUKAO #45
株式会社工藤組
建築部技術者



DATA

七戸町(旧天間林村)出身。中央工学校女子建築設計科卒業後、1995年4月に株式会社工藤組入社。その後3人の子どもを出産し、仕事と育児を両立しながら1級建築施工管理技士、2級建築士、監理技術者の資格を取得。現在、2021年1月までの工期で宮農大学校管理研修棟改修の現場監督を担当。趣味はお菓子作り。

株式会社 工藤組

青森県上北郡七戸町字後平150-62
tel.0176-68-3111
<http://www.kudogumi.co.jp/>



簿記1級合格も 銀行員から進路変更

建築現場で働く女性がまだ珍しかった時代、20歳そこそこで現場監督を経験し、その道を切り開いてきました。全国的にも数少ない女性1級建築施工管理技士、株式会社工藤組(七戸町、番場宗幸社長)の塚尾香澄さんです。

七戸町ふれあいセンターの新築に始まり、現在手掛ける宮農大学校管理研修棟改修に至るまで、地元を中心に数多くの建築現場で監督として技術と経験を積み重ねてきました。

「発注者や設計事務所、職人などによって要求はさまざま。何度も図面変更になり、そのたびに工程を組み直したこともあります」と、現場監督の難しさを語る塚尾さん。

それだけに、建物が竣工したときの達成感もひとしおです。「ひとつのものをみんなで作り上げ、苦労を共にしてきた人達と一緒に建物を引き渡す、あの一体感がたまらない」

計算が好きで中学時代は銀行員を目指していた塚尾さん。ところが高校3年のとき、父親の猛反対に遭いながら、建設系専門学校である中央工学校(東京都北区)への進学を目指します。

行員の仕事に役立てようと、合格率1ヶ台の難関「日商簿記検定1級試験」に挑戦し見事合格したその矢先でした。

きっかけは、友人の親が建設関係の仕事をしていたこと。「自宅が古い家だったから、新しいお家に憧れを抱くようになった」と、当時の心境を明かします。

「カッコいい！」建築に憧れ

その友人宅の前を通るたび「いつか自分の家を建てたい。『設計士、という名前の響きがかっこいい』と、しだいに夢が膨らんでいったそうです。

所属する剣道部の顧問に相談すると、知り合いだという東京の建設会社を紹介されました。昼間はその会社で働くことを条件に、授業料の捻出が理由で反対していた父親を説得することに成功。昼は社員として、夜は学生として、東京で2年間、がむしゃらに建築の知識を学びました。

「東京のひとり暮らしはさみしいけど、夜に学校に行くと同じ建築の趣味を持つ女性がたくさんいて、そこは夢や希望に満ちあふれていました」と、皆勤賞だった専門学校時代を楽しそうに振り返ります。卒業とともに、地元に戻って現在の会社に入社しました。

塚尾さんが担当する宮農大学校管理研修棟改修の現場は準備段階のため、この日は普通高校出身ながら「現場監督が夢」という新人、沼端雅樹さんが担当している天間林児童センターの建築現場に同行しました。

塚尾さんは、職人と打ち合わせをした後、搬入された材料の数や取り付ける筋交いの位置などを確認。検査を通すための写真や書類にも目を通し、屋根に上れば作業中の職人に「落ちないでね」と注意を呼びかけます。

同社には、塚尾さんに続く新人の女性技術者も次々入社しています。工業高校出身で建築部3年目の和田歩美さんと、普通高校出身で土木部2年目の川崎美紅さん。ともに21歳。「二人とも優秀だし勉強熱心で、上司からもかわいがられています。途中で挫折する人もいるので、このままぶれないで、まっすぐに育ってほしい」



それぞれ強度が違う金物など材料がそろっていることを確認

将来の夢「自分の家を建てたい」

人見知りを自称する彼女ですが、「誰に対してもコミュニケーションをとる能力が非常に高い」(外井新一総務部長)と周囲の評価は上々。人と話すときに心掛けていているという笑顔、に、親しみやすい人柄がにじみ出ています。

1995年の入社後すぐに結婚し、翌年から二つ違いずつ3人の子どもを出産した塚尾さん。

いまでもこそ当たり前前の産休ですが、男性中心の建設業界では取りにくい時代がありました。「仕事を辞めるべきか悩む中、前例がなかった産休を認めてくれた」と、会社の理解に感謝しています。

仕事と育児のかたわら、1級建築施工管理技士や2級建築士といった国家資格を取得するなど、会社側もキャリアアップを支援してきました。



新人研修のため立ち寄った建設中の天間林児童センターの前で

実は、設計部門を持たない同社で2級建築士の資格を取ったのは、あくまでも「心配していた親を安心させるため」で、取得後しばらくは会社は無申告だったそう。

でも「いつか自分の家を建てたい」という高校時代の夢を、まだ諦めてはいません。「子どもたちが就職した上で気持ちの余裕ができれば、しっかり勉強して一級建築士にも挑戦したい」

ひとことメッセージ

株式会社 工藤組 常務取締役総務部長
外井 新一

塚尾さんは、建築関係の専門学校を卒業してすぐに当社に就職しました。入社当時、女性の建築の現場監督はこの地域にはいなかったと記憶しています。入社当時から先輩技術者について建築現場を担当しました。2013年には1級建築施工管理技士の資格を取得し、現在は一級建築士の資格取得を目指して勉強しているようです。とても明るい性格で、現場で下請業者の監督や職人とのコミュニケーションを取るのがとても上手く、担当したどの現場においてもとても良い雰囲気現場になっています。また、当社には若い女性技術者が建築部と土木部に配属になっています。塚尾さんは、彼女たちに対して技術指導や様々な相談にも親身になって対応し、一人前の技術者に育ててくれると思います。当社は、女性技術者を目指す人を応援しています。いつでも職場見学を受け入れますので興味のある方はどうぞ!



建設女子の一日

仕事の顔
&
休日の顔

共栄産業株式会社 新山翔子さん



5:00 起床して筋トレ

7:20 家を出る
小3のお姉ちゃんは小学校へ、1歳の長男は私と保育園へ

8:30 作業開始
ガスや溶接などの作業道具の準備をします

10:00 休憩
缶コーヒーを飲みながら配車表を見て、その日関わりのありそうな積み込み・荷下ろしの確認をします

13:00 午後の作業
鍛冶仕事(溶接やガスの作業)をしたり、車(トラックやトレーラー)が来れば積んだり降ろしたり…。他の部門でも、オベがないときには駆り出されたりします

16:30 片づけ
冬は少しの油断で雪に埋もれたり凍ったりするので入念に!

17:30 帰宅
子供を小学校と保育園に迎えに行き、帰宅と同時に晩御飯づくり

19:30 お風呂
子供たちとのんびり過ごせる時間

21:00 自由時間
ソファでゆったりしながらテレビを見ます。子供たちが寝ると、猫たちが物陰から出てきて甘えてきてくれます

5:00 片付けに身支度に掃除機がけに…とにかくバタバタです

6:00 身支度

8:00 8:00 出社
親方と二人で缶コーヒーを飲みながら、一日の打合せをします

9:30 配車表確認
その日の配車表が発行されるので事務所へ買いに行きます

11:45 お昼休憩
車にはクッションと毛布を完備

14:00 クレーンによって操作やクセが全然違うので、クレーンをハシゴするときは気持ちを切り替えていかなければいけないが大変です

17:00 17:00 退社

18:00 18:30 晩御飯
この日はアキアパツパスタ、白和え、水菜とカリカリじゃこのサラダ!!

20:00 20:00 長男寝かしつけ

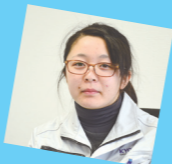
22:00 22:00 就寝

★休日の過ごし方

フレンチトーストやパンケーキなど、子供が喜ぶような朝食を用意。とにかく子供中心で、家族で旅行に出かけたり、長女とお菓子を作ったり、8時間煮込んだラーメンを作ったりして過ごします!



株式会社京谷電気 下川茉央さん



6:00 6:00 起床

7:10 7:10 出社

8:00 8:00 配線器具取り付け作業
コンセントやスイッチを取り付けます。

10:00 10:00 休憩
手作りのお弁当を食べました!

12:00 12:00 ランチタイム
結束バンドを使い整線します。

13:00 13:00 午前 of 続きで室外機につなぐケーブルの整線
外での作業のため、風が当たるととても寒いです。

14:00 14:00 ダクト加工
ケーブルを支持するために適当な長さで加工します。

15:00 15:00 休憩

15:15 15:15 ボード開口
配線器具を取り付ける前の段階で、壁紙が貼られる前にボックスの大きさをボード開口をします。

17:00 17:00 17:00 回線チェック
コンセントまできちんと電気がきているか全てチェックします。

17:10 17:10 現場での作業終了

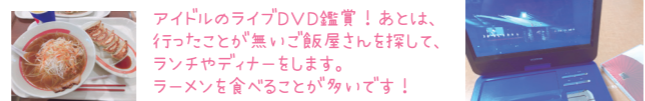
18:00 18:00 18:00 帰宅
夕食や入浴を済ませます。

21:30 21:30 21:30 趣味の時間
好きなアイドルのライブDVDを観たりして1日の疲れをとります!

23:00 23:00 23:00 就寝

★休日の過ごし方

アイドルのライブDVD鑑賞! あとは、行ったことが無いご飯屋さんを探して、ランチやディナーをします。ラーメンを食べることが多いです!



事務所や現場で、元気に働く建設女子。彼女たちは、どんな1日を過ごしているのか、たずねました!

株式会社工藤組 塚尾香澄さん



6:00 6:00 6:15 起床
弁当作り〜朝食〜準備
弘前にいる娘からのモーニングコールで起きる

7:30 7:30 7:30 直接現場へ出社
現場事務所内掃除
写真管理・墨出し・職人と打合せ etc...

8:00 8:00 8:00 午前中の作業

10:00 10:00 10:00 休憩
11:30 11:30 明日作業の打合せ
建築・設備・電気・学校関係者で毎日打合せします。

12:00 12:00 12:00 昼休憩
たまに会社で、後輩女子達とランチタイム

13:00 13:00 13:00 午後 of 作業
内業(施工計画や材料承認や沢山書類に追われています...)

15:00 15:00 15:00 休憩

18:00 18:00 18:00 トイレ掃除
現場の見回り

18:30 18:30 18:30 帰宅
夕食〜洗濯〜テレビ

22:00 22:00 22:00 入浴
1時間ガッツリ長風呂と体のマッサージで一日の疲れを取ります

23:00 23:00 23:00 就寝

7:50 7:50 7:50 朝礼

10:00 10:00 10:00 コーヒータイム

15:00 15:00 15:00 コーヒータイム

★休日の過ごし方

子供達が小さい頃はよく、お菓子を手作りして試合などに差し入れてたけど、今は子供達が大きくなったので気分転換に作って仕事場に持って行ったりします。



建設女子の7つ道具って!?

パワフルに働く建設女子たちの、仕事に必要な不可欠な「7つ道具」を紹介します!

共栄産業株式会社 新山翔子さん



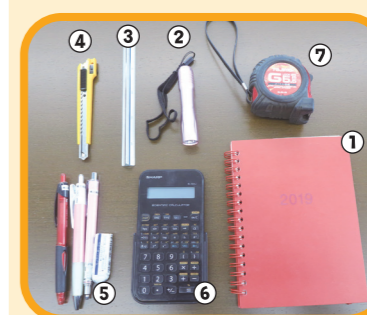
- #1 防具類**
鍛冶仕事の際に火や熱から体を守ります。
- #2 溶接面**
手に持って使うタイプとヘルメットにつけて使うタイプあり。
- #3 さし金**
材料にマークする際に使います。L字形で直角を出しやすい。
- #4 切断機**
酸欠とアセチレンを混合させて炎の温度を上げ鉄を溶かします。
- #5 石筆 (せきひつ)**
チョークのようなもので材料にマークする際に使います。
- #6 ガム**
クレーンに乗る際、眠い時や集中したいときに噛みます。
- #7 ロックライター**
切断機に火をつける際に使う火花だけがでるライター。

株式会社京谷電気 下川茉央さん



- #1 ペンインパクトドライバー**
ビスを止めるのに使います。
- #2 水平器**
ボックスを取り付けるときなどに使います。
- #3 スケール**
寸法を測るために使います。
- #4 ペンチ**
ケーブルを切る時などに使います。
- #5 ニッパー**
ケーブルの芯線などを切る時に使います。
- #6 プラスドライバー**
ビスの締めつけなどに使います。
- #7 マイナスドライバー**
配線器具にケーブルを差し間違えた時などに使います。

株式会社工藤組 塚尾香澄さん



- #1 メモ帳**
打ち合わせの時に使います。
- #2 LEDライト**
屋根裏など少し暗い場所での作業に使います。
- #3 三角スケール**
現場ですぐ寸法を測れるよう常備します。
- #4 カッター**
梱包をほどくときに使います。
- #5 筆記用具**
消しゴムは、壁の汚れも落とすに使用します。
- #6 計算機**
現場で計算する時に使います。
- #7 メジャー**
現場で建築物などの全長を計る時に使います。